



## 並列処理

体育大会が終わったと思ったら、今度は合唱の朝練ということで、朝が苦手な人にとっては大変な日々が続くことになる。去年は、訳が分からず流されていた人も、今年は去年の経験を踏まえて、この時期の自分の生活をしっかりとコントロールしてほしい。というのも、当然のことながら、前期中間考査も近づいてきているからである。

\*

日比谷の前期は、とにかく勉強+行事（+部活+総合学習…）とたいへんなわけだが、その中で時間の使い方や人間関係の維持の仕方、つまり自己管理（コントロールの仕方）を身につけていくことになる。これが3年生になった時にいかに生きてくるかということは、例年、第一志望の大学に合格した卒業生が、「行事などにも積極的に取り組もう」と強調していることから納得できるだろう。

（私が前に担任したクラスから現役で東大に合格した3名は、全員部活をやっていて、しかも星陵祭で役者を勤めた諸君であった）

そういうわけで、日比谷の前期は色々なことを上手に「並列処理」していくことが求められるわけだが、何を隠そう（別に隠す必要もないが…笑）、私は「並列処理」は大の苦手である。苦手であるが、大人になって仕事をできるようになると、毎日それをこなしていかなければならない。で、どうしているかというと、並列してやらなければならないことに順番をつけ、順番の一つずつこなすということにしているのである。

言ってみればこれは当然のことで、君たちだって明日までに数学の宿題と英語の予習をしなければならぬ時は、一度に両方のノートを広げて、右目で数学+左目で英語、あるいは、右脳で数学+左脳で英語（ちなみに、左脳の主な機能は論理的な事柄を司る機能、右脳の主な機能は感性・感覚を司る機能と言われているので、数学も英語も左脳だろうなあ…）なんてことをしているわけではなく、「数学が嫌いだから先ず英語から…」とか「T先生よりもK先生は怖ろしい…（笑）」みたいな感じで順番をつけて処理しているはずである。

大人になると、多分、この順番付けが上手にできるようになるのだと思う。もちろん、「やりやすい仕事」とか「好きな仕事」とかいうものがあって、どうしてもそういうものから取り組むことになりがちだが、それでも最終的には並列処理しなければならないことをキッチリ指定された時までには仕上げられる「段取り」がつけられるようになるのである。むしろ、「苦手な仕事」や「嫌いな仕事」をサッサと済ませてしまえるようになったりするのである。

\*

自分の取り組みやすいこと、逆に苦手なことは、もうかなり分かっているはずだ。また、ちょっとした空き時間が利用できること（チョコ勉）が可能なものが何なのかも分かっているはずである。それを踏まえて、計画的に「並列処理」することを目指す。